

'13.8.18

都サ連通信

発行 東京都手話サークル連絡協議会

代表 高田 直樹

<http://tosaren.web.fc2.com/index.html>

tosaren@syuwa.tv

FAX03-3961-2445

福祉対策会議報告(7月1日)

- ・手話研修センター後援会への加入、そして、We love パンプの継続普及に協力をお願い。
- ・7/29(月)、聴覚障害者施策推進地域担当者会議(旧:自立支援法地域担当者会議・今回より改称)を開催。於:リフレッシュ氷川
- ・東京都との福祉懇談会は、東聴連は6/28(金)に終え、中難協は7/11(木)に行う。
- ・都サ連は東聴連と共に、8/3(土)~4(日)宮城被災地バスツアーを企画。定員40名。コミュニケーションボード活用に関する投票所情報をまとめ中。ボードの不設置、あるいは聴障者が尋ねた時に出してくるなど、十分に活用されていないのではと懸念している。
- ・東通研集会は、9/7(土)東聴連と共催で行う。「暮らしに関わる問題についての討論&学び」
- ・厚生労働省策定カリキュラム準拠のテキストが改訂作業中。
- ・参議院選に向け、7/20(土)ビデオ上映会を開催。また、立候補者に対し、福祉施策や情報・コミュニケーション支援についてのアンケートを実施する。
- ・手話ボランティア災害協定内容について、手話ボランティアの位置づけに関して、担当者間で事情が錯綜している。
- ・DVD『生命のことづけ〜死亡率2倍 障害のある人たちの3.11〜』(監督:早瀬憲太郎) & 『逃げ遅れる人々 東日本大震災と障害者』(監督:飯田基晴)の購入(上映権を含む)を承認。
- ・第26回の東京開催に向け、8/16(金)~18(日)「第25回ろう教育を考える全国討論集会 in 長崎」に視察団を派遣する。(東聴連、東通研、都サ連から5名)
- ・8月は休会、次回は9/3(月)の予定。記録は都サ連担当、ご協力をよろしく願います。

(文責:委員 林)

たましろの郷後援会役員会

7月27日にはたましろの郷夏まつりが、8月5日には手話で語る戦時体験が開催されました。たくさんの方にお越しいただき、ありがとうございました。

事務局より

- ・2013年度会員数…個人:842名(新規16名 再2名)902口
団体:36団体 63口
 - 募金箱 292個回収 ¥1,233,744(6月25日現在)
 - ・球根販売の申し込み受け付けを開始しました!! 昨年までのチューリップのほか、今年はスイセンが2種類加わりました。
- みなさまのお申込みをお待ちしております。

今後の予定

- ・9月28日(土)たましろの郷見学バスツアー
- ・10月27日(日)たましろフェスタ in 渋谷(リフレッシュ氷川)

(文責 戸部)

参政権保障委員会報告(2013/7/20)

参政権保障委員会では、毎月第3月曜日に定期会議を開催しています。7月は通常の前定を変更して、政見放送のビデオ上映会の前に会議を行ないました。

●政見放送のビデオ上映会

7/20に政見放送のビデオ上映会を開催しました。開催場所は当初2カ所(中野区、大田区)を予定していましたが、都合により大田区の開催はなくなり、中野区商工会館での開催のみとなりました。

参加は15名でした。

開催時に、字幕がうまく流れないなどのトラブルがあったので、今後改善するよう努力することとなった。

次回の会議は2013/9/16の予定

(事務局 三村)

自立支援センターまつり報告

海の日の7月15日に第15回センターまつりが開催されました。暑い1日でしたが400名以上の参加で賑わいました。事前準備や当日のお手伝いで地域サークルの方々にご協力いただき、誠にありがとうございました。今年度の要員は福引、スタンプラリー、バザーなど広く募集しました。都サ連としては東聴連と共に福引、スタンプラリー、似顔絵を担当しました。サンリオ様はじめ多くの企業から福引の景品を提供していただき、参加した方々に大変喜んでいただけました。高田代表、ご尽力ありがとうございました。景品が多かったこともあり、仕分けに時間がかかってしまいました。来年度は事前の準備要員を増やしたいと思っています。

センターまつりも耳の日の集いと同じように聴覚障害者の活動をサポートし、共に楽しめる場として来年度に繋げていけることを願っています。

(遠藤、小嶋、宮田)

自立支援センター運営委員会報告

7月13日(土)10~12時
 8月運営委員会は休会
 9月14日(土)10~12時
 10月は障害者スポーツの祭典のため休会
 ○ふれあいサロン
 ビール等、おつまみの準備があります。
 8月10日(土)18時から
 今後の予定:10月12日、12月14日
 偶数月の第二土曜日になります。
 ろう・健聴問わず、みなさんぜひ一度参加してください!
 ○特別講演会第2弾
 テーマ「生き立ちと ろう学校教員の経験談」
 日時:11月23日(土・祝)
 講師:戸田康之氏
 参加費:1000円
 ●自立支援センターまつり
 2013年7月15日(月・祝)
 ご協力ありがとうございました
 7月25日反省会を行いました
 以上です。 (文責 杉石)

たましろの郷夏祭り感想

7月21日(土)、第12回たましろの郷夏祭りに参加してきました。
 毎年の夏、自宅から片道1時間半のドライブも含めて、のんびりとした一般での参加を楽しみにしている行事です。
 到着後、見知った顔やボランティアにきている同じ八王子の人達に挨拶を済ませ、家族へのお土産に鉢植えやドクダミローションなどを購入し、一般の参加者に混じってたましろのなかまたちが模擬店や舞台上の和太鼓やフラダンスを堪能しているのを微笑ましく眺めながら、同じのんびりと夏祭りを堪能させてもらいました。
 模擬店の焼きそばやクレープ、なかまたちが頑張ったスイカはとても美味しかったです。
 雨天が予想されたため、バンド演奏、盆踊り、閉会式は早めに終わり、片付け中ちょうど降り出した毎年恒例の雨の中、同じ八王子の人達と相乗りして帰りました。
 ボランティアで人に喜んでもらうのも良いけれども、たまには一般参加を楽しむのも良いものだと思います。
 充実した夏のひとときをありがとうございました。
 (文責 大木)

広報班の活動報告

サークル訪問記 ～「東京理科大学手話サークル SSL」～

5月30日(木)、山崎さんと私の2人で、東京理科大学手話サークルSSLに訪問してきました。
 場所は、JR 中央線飯田橋駅の西口を出てすぐ右にある橋と交差点を越えたところ、東京理科大学神楽坂キャンパス。
 昼の部(一部)と夜の部(二部)の2部に分かれており、各部、毎週2回ずつの開催です。
 今回は夜の部、夜9時から1時間半。健聴難聴あわせて15名程の集まりでした。
 前半は勉強会、後半はゲーム。持ち回りの担当者がひとりで司会進行をしていました。
 勉強会は、手話単語の語源など解説も含め、挨拶から短文まで理解しやすいように進められました。
 終わったあと山崎さんがろう者の視点で手話表現を考えるようアドバイスをすると、はっとしたように頷きながらノートにメモしていました。
 後半のゲームは、手話の語彙力はもちろん、日本語の単語力や高度な記憶力を問われる頭脳ゲーム。
 知らない手話表現が必要になると自分たちで工夫して考え出し、わからないだけでは終わらせない姿勢も見て取れました。
 ボランティアなどの活動は今現在ほとんど個人単位だそうで、交流会やボランティアなどの情報は積極的に受け取りたいとのこと。
 常日頃の向上心と、考えることをためらわないその姿勢が伝わってくる、東京理科大学手話サークル SSL 夜の部でした。

サークル訪問記～「慶應義塾大学手話サークル MiMi」～

6月8日(土)、千葉にある東横線日吉駅をおりてすぐ、慶應義塾大学手話サークル MiMi の訪問に、山崎さんと私の2人で行ってきました。
 活動は午後1時から、前半1時間ずつ学習会とゲーム、後半2時間で交流会の、三本立て。
 その日40人強の集まりのなか、現役の学生だけでなくOBなども参加しており、社会人のろう者も6人ほどいました。
 前半、学習会では、ろう者に簡単なアドバイスをもらいながらグループごとに学生主導で手話表現を学び、ゲームでは、あらためてグループ分けの後、お題の「め」や「2」などの指文字の形を崩さずいかに仲間同士で違う手話表現ができるかを競いました。
 勉強会もゲームも、今までに培った知識を最大限活用して、油断なく取り組んでいる様子でした。
 会そのものが全体的にとっても丁寧で、交流会に入る前には都サ連の紹介や耳の日など行事の話もしっかりとさせてもらえました。
 後半の交流会では、社会人のろう者はこの時間が毎度楽しみだそうで、お茶やお菓子をつまみながら仲間や学生たちとの話に花を咲かせていました。
 学生たちも積極的に聞こえない人に話しかけたり、新入生との親睦を図ったりして、のんびりとした時間が流れていました。
 終始和やかな雰囲気でも、やるからにはとやり通す、優等生らしい慶應義塾大学手話サークル MiMi でした。

(文責 広報班 大木)

